

## 今月のテーマ ワールドカップ

# 田上市長の 恋ツとトコ

～自らの思いを皆さんに語るコラム～

サッカーのワールドカップ2014ブラジル大会は、ドイツの優勝という結果で終わりました。

日本代表にとっては厳しい結果でしたが、長崎市出身の吉田麻也選手をはじめ、選手たちは全力を尽くしてくれました。4年後に開催されるロシア大会での躍進を期待したいと思います。

＊ ＊ ＊  
ワールドカップの出場チームをみると、長崎ゆかりの国々が数多く出場しているのに気づきます。

まず開催地ブラジル。姉妹都市サントス市がある国です。それだけではなく、エースのネイマール選手は、このまちを本拠地とするサントスFCで活躍していた選手です。今はスペインで活躍していますが、二年前に姉妹都市提携40周年を記念してサントス市を訪問したときは、まだサントスFCでプレーしていました。

サントスFCは、サッカーの神様ペレ選手も所属していた名門チーム。カズこと三浦知良選手も所属していました。ネイマール選手は、長崎か

ら訪れた中学生チームを笑顔で迎え、一緒に記念写真を撮ってくれました。もちろん中学生たちは大喜び、というより大興奮でした。ファンにやさしいことで知られるネイマール選手ですが、長崎の中学生たちに対しても、本当に気さくに笑顔で接してくれました。



ネイマール選手(中央)との交流の様子

3位のオランダには、姉妹都市ミデルブルフ市と市民友好都市ライデン市があります。どちらも出島を通じた縁です。

また優勝したドイツには、市民友好都市ヴュルツブルク市があります。このまちはシーボルトの生まれ故郷。多くのノーベル賞受賞者を輩出しているヴュルツブルク大学

があるまちとしても有名です。

そのドイツに準々決勝で敗れたフランスには、ヴォスロール村という姉妹都市があります。ド・ロ神父の出身地であるこの村とは、旧海外町時代に姉妹都市の縁組をしました。それからずっと30年以上にわたり、心の通った交流が続いています。

そのほかにも、残念ながら予選リーグで敗退したポルトガルには姉妹都市ポルト市があります。このまちにあるクラブFCポルトは、強豪クラブチームとして有名です。

そして最後にアメリカ。日本で最初に姉妹都市の縁を結んだのは長崎市とセントポール市でした。

＊ ＊ ＊  
ゆかりの国が出場すると、つい応援したくなります。日本が敗退した後は、ブラジルの悲願である開催国としての優勝を期待していましたが、ネイマール選手のけがなどもあり願いは叶いませんでした。

ワールドカップを見ながら姉妹都市や市民友好都市に思いをはせるのも、長崎らしい楽しみだなと思いました。



お堂の裏にはこの地を見守ってきた滝がある 川を上流へ上ると300年の歴史が待つ



小さな滝に出会う  
醍醐の滝

三川町バス停を下車し、脇道に入ると程なくして観音橋に差し掛かる。橋を渡り、右へ上っていくと5分。三川川のほとりにつながる。

そこから川の上流目指し歩いていくと、徐々に空気がひんやりとしてくる。さらに、涼しげな水音を伝い、山道を登っていくと目の前に釣鐘堂が現れる。この一帯は古くからの霊場であり、歴史を感じさせる。その奥にはお堂が鎮座しており、その脇に流れるのがお目当ての醍醐の滝である。

滝はとうとうと流れ、水しぶきがまばゆい。ひとしきり滝を眺めた後は水に触れてみるのも良い。浅瀬に足を入れると適度に冷たくとも心地良く感じる。山里に佇む小さな滝にあなたも会いに行ってみてはどうだろうか。